



# どっこいしょ

Dokkoisyo



2017.4.7 (金) 第27号

## 自ら進んでできることを

～ 校訓 自主・協同・創造 より～



西門にある校訓の石碑→

4月7日(金)平成29年度の始業式。学校長の永田浩史(ひろし)です。江井島中学校での2年目が始まりました。1年前にこの「校長室の窓」を創刊し、生徒を通じて各家庭にお届けし、学校や地域のことを情報発信(本校HPにはPDF版を掲載)してきました。今年度もできるだけタイムリーな話題をお届けしようと考えています。タイトルの「どっこいしょ」は同じです。職員室では、「次の学校だよりは“よっこらしょ”かもよ」という声がありました……。

谷八木から二見までの海岸線や川沿いに戦前まであったという“湧き水”の呼び名である“どっこいしょ”。これからもよろしく願います。(詳細は本校HPに掲載している“どっこいしょ”創刊号をご覧ください)

そこで今年度の始めの一文字は、「自」という文字。本校の校訓である「自主・協同・創造」から取り上げたものです。今から38年前の昭和54年に大久保中学校から分離した江井島中学校。初代校長は西海正二校長です。その時に、この校訓が制定されています。

3月31日に小・中学校の新学習指導要領が文部科学省より告示されました。年末の答申の後には、「聖徳太子」や「鎖国」についてのパブコメが話題になりましたが、ひとまず落ち着いたようです。中身を見てみると、小学校では外国語活動が3、4年生で、教科としての英語学習が5、6年で実施されます。また、「アクティブ・ラーニング」という言葉が入り、「何が……」「何を……」「どのように……」といった言葉が続いていきます。「主体的・対話的」といった言葉も出てきます。また、「プログラミング教育」といった言葉までも。

今、この新学習指導要領を考えると、校訓「自主・協同・創造」はなかなか的を得ているのではないかと考えます。一例を考えてみると、「自ら考え、探し、仲間とともに新たなものを創造する」ということになります。全国各地にある校訓というものは、まことに言い得て妙な文言の表れであるとも言えます。大学などでは、「Mastery for Service」(奉仕のための練達)といった英語表記もあります。

さて、ご家庭でも「自ら」ということを意識していきましょう。生徒たちの一日の生活、学習や部活動、習い事など、「自ら考え、計画し、やってみる」そして課題を見つけて対策を立てていく。こつこつと日々を積み上げていくことが大切だと考えます。

# 自

ジ・シ、みずから、おのすから  
正面から見た鼻の形にかたどる。自分を示すのに指さすことから、ひいて、みずからの意に用いる。

### 配膳室の工事関連

プレハブ南棟の1階を配膳室にするための工事が3月24日より始まっています。現在は本館1階東側階段の改修工事が進んでいます。

重機で床面のコンクリートを削り、配膳室から本館へのスロープを作るための大がかりな工事です。かなりの騒音と床面の汚れが気になる場所ですが、生徒たちの学習には影響のないよう配慮していく予定です。ご理解をお願いいたします。



▲ 正門東側にはフェンス

### お知らせ

生徒たちには3学期末に伝えておりますが、今学期より朝の本鈴が8:20となります。

予鈴 8:15

本鈴 8:20(朝読書の開始)

※この時間に教室の自席に着席しておくこと。

遅刻のチェックはこの時間に行います。

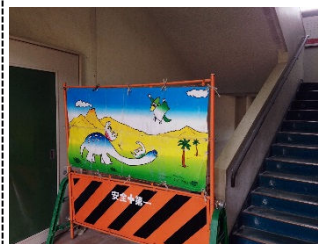
■ご家庭でもあせらずゆったりと安全に登校できるように送り出しをお願いします。



### 部活動等の記録

【柔道部】  
松山城東ライオンズクラブ  
柔道錬成大会  
(濱田初幸記念大会)

西川弘人  
55kg Bリーグ 優勝  
おめでとう!



▲ 1階東側階段の工事